No.28のクロスワードの答え

シ	ジ	ミ	■	オ
ン	■	ミ	イ	ラ
ゴ	ウ	カ	ク	■
ウ	ワ	キ	モ	ノ
キ	メ	■	ウ	リ

クロスワードの答えは、カ キ ゴ オ リ
A B C D E
でした。ちょっと今の時期には合わないですね

後記。

大雪の次の日でしたので寒かったです。いつも通り駅前ってしまいましたが…次回はもっとできればと思います。すず

編集した日は大雪の翌日で、とても寒かったです。今回も頑張って作製しましたので、宜しければご覧下さい。Tommy

久々のポルタードでしたが、いつも通りとても楽しく作業できたので、次の帯国版が作れればと思います。今回もお付き合い頂きありがとうございました。ひ

長い冬も、もうすぐ終わりを告げ、春がきますね。皆さんに訪れる春が、どうか素敵なものであります様に。今回もご覧頂き、ありがとうございました！ 琳

としょかんスタッフより

メンバーの皆様、雪の中ありがとうございました!!
二週続けての大雪でしたね。一面真っ白で驚きました。
足がぬれるのもかまわず、雪の中に足をズボズボと入れて楽しんでしまいました。
いろいろな所で雪だるまやかまくらを見ることもタクさん(雪の量がタクさんだったので、どこもかなり立派!)、目にも楽しい日々でした。
しかし毎日寒いです。そろそろ春が待ち遠しいですね。

YA広報誌『ポルタード』No.30
編集：YAボランティアの皆さん
（ひさこさん：琳さん
　すずさん：Tommyさん）
稲城市立中央図書館
2014年2月吉日
TEL：042-378-7111
Email：inagi@lib@library.inagi.tokyo.jp

稲城市立中央図書館 ポルタード

POLTADA No.30

皆さん、こんにちは！
先日、20年に一度と言われる大雪が関東で降り、滅多に見る事の出来ない銀世界を体験しました。

さてさて！2014年ソチオリンピック、大変盛り上がりましたね!!
仲間と共に、ライバルとお互いに、一生懸命に戦う選手の方々からは、（右に続く→）

たくさんの感動と勇気をもらいました。
3月7日からのパラリンピックでの選手の方々の活躍も楽しみです!!

それでは、お楽しみください!!
Let's go!!

編集者と、"雪"と言えば…？

映画ロイの「白熊」（ちゃんちゃん、ゆゆ）が雪の降り方。ひ	「すず」と共に雪遊び!! 体がぶりぶりする。琳	雪と雪合戦をしてスッキリできました。すず	「雪」と言えば、雪だるま。Tommy

Editbook 飼ってみたい動物について(4)

18:36

ひ：実は、僕は昨年からスコティッシュフォールドの子を飼っています。何をするにもかわいくて、可愛くて仕方がないです。

すず：それはクマ

ひ：猫！いいですねえ。私も黒猫を飼ってみたいです。あの様々な動きや表情な声、それでいて信用しても全てを人に委ねる訳ではないところに惹かれます。 すず

ヒロ：私はウーパールーパーを飼ってみたいなあ(^^)。あのつぶらな瞳、思わず脱力してしまいそうな表情に惹されたりです。

Tommy：私は熱帯魚ですかねえ。色が鮮やかで、とても魅力的です。熱帯魚ではありませんが、私は常に金魚を飼っています。

ひ：このほかにも意見としては、大型犬、兎なども寄せられました。皆、色々な動物を飼ってみたいんですね。とりあえず、今度兎を連れてTommyさんの家にお邪魔しますね☆

Tommy：やめて下さい。

漢字クロスワード

当てはまる漢字は何でしょう？

《タテのカギ》
1. 河跡湖のことを一湖と呼びます。
4. 一見青い。一水深。
5. 人の人格的価値のこと。
6. 油は鉄のない一だ。
7. 彼は一者ですで世間知らずだ。
9. 裁判所に一を訴える。
11. 書留郵便になります。

《ヨコのカギ》
1. 寒い日が3日続くと、暖かい日が4日続く。
2. 登閣のこと。
3. ランキング。
5. 品物の性質を担保すること。
8. 一装飾、一プール。
10. 事情を説明すること。

キーワード
A ― B ― C

フリートーク

冬に読みたい本
『舟橋』 島崎藤村
『ウイルスちゃん』 暁方ミセイ
『宮沢賢治詩集』（岩波文庫）
『雪女伝説』 斎藤孝子
『雪沼とその周辺』 堀江敏幸
『雪国』 川端康成
『六』 小山田浩子
『海行け diary』 吉田秋生
『外科』 ゴンゴリ
『世界の話ソ ヒハーバ スイルバ ワンクラント』 村上春樹
ぜひご一読を!!

～最近ちょっとハマって～
そう言えば、最近パソコンで、ようやくスマートホンに機種変しました！
ぜひ見て分からない。
1. ネット検索が便利！ ガラケーでは比較にならない。
2. LINEの使用方に気付く（ガラケーだと遅くてメールでするので、ほぼ意味なし）
3. 文章入力が難しい。テーマ操作に慣れていないとフリック出来ない…
…と、若者らしさゼロですが、少しずつ使いこなせたらと思っています。 by. Tommy

かぐや姫の物語

昨年11月に公開された高畑勲監督によるスタジオジブリ作品の『かぐや姫の物語』、皆さんは、ご覧になりましたか？
この作品は、日本人には馴染み深い『竹取物語』を高畑氏が独自に解釈し、「かぐや姫の成長の物語」として描いたアニメーション映画です。
スケッチのような、全体的にあっさりとしたかぐや姫やしゃ、映像表現、生き生きと描かれた『竹取物語』では見られていないかぐや姫のスポーツ的の生活の話、自然を表現の表情と滑らかな美しさを持つ人間としての姫の生き様やこの時代の風俗など、本当にたくさんの魅力が詰まっていました。
観賞後も感覚的に、様々な思いや考えが脳裏に巡りました。この作品のかぐや姫は、現代に生きる私達に、「自分の生を享受しているか」「自分にとって幸せとは何なのか」という事を問いかけているのではないかと思います。
映画は現在も公開しています。まだご覧になっていない方は、是非劇場まで足を運んでみてはいかがでしょうか。

夢十夜

夏目漱石

「こんな夢を見た。」から始まる十夜分の摩訶不思議な短編集です。
美しい文章なので、語り聞くしばらく印象に残りました。
特に印象深かったのは、第一夜と第七夜で、第一夜の流れていく中が「百年待っていて下さいね。」「きっと、ほかの人に会えますから。」と言い残し死にます。男は待ち続けやがて白百合の花が咲き、百年たっていたことに気づくのです。
たったこれだけの話ですが、文章が精巧なので様々な情景がでます。
短いので、読みやすいと思います。
春方は夏目漱石の世界もものぞいてみませんか？